

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2023年2月15日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	旭川市	代表者名	今津 寛介		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0166-25-6205		
担当者役職	一般職	担当者氏名	會津 裕介	連絡先E-mail	
住所	070-8525 北海道旭川市6条通9丁目46番地				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	職員研修においては、これまで伊那市が取り組んできた先進的なDXの取組や、国や民間企業を活用した事業推進の手法等について自治体職員の視点から詳細に説明いただき、職員のDXに対する期待が高まるとともに、DX推進手法の視野が広がった。 2つの事業について意見交換をさせていただいた際には、伊那市の実例を踏まえながらさまざまな視点から事業推進のアドバイスをいただいた。事業を進めていく上では財源を初めとした課題があったが、交付金申請の流れや国が整備する補助事業の紹介していただくなど、非常に実践的なアドバイスを受けることができた。
アドバイザーへの要望事項	伊那市で連携している民間企業の実証実験やヨコ展開に、是非とも旭川市を加えていただきたいので、引き続きご支援いただければと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2023年1月25日	支援・助言(実地)	有	2023年1月23日	521
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和5年2月7日	支援・助言(実地)	10時00分	17時15分	90
				活動時間(分)	345
3-2. 派遣場所	会場名	旭川市役所(オンライン)	最寄駅	旭川駅	
	所在地	旭川市6条通9丁目	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	研修参加者(事務局含む)及び業務所管課職員	55人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市では、「日本一のデジタル都市」を目標に掲げて取組を進めているところですが、具体的にどのような取組を行うことが必要なのかがイメージできていません。また、財政や人材、ノウハウ不足などさまざまな課題により思うように進まない取組も多いです。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・先進事例を学ぶことで、DXへの期待感を高め、日本一のデジタル都市を目指す上でどのような取組を進めていかなければならないかを職員が理解する。 ・国や企業等との連携によるDX取組事例を学び、これまでの枠にとらわれないさまざまな視点でDXを推進する意識を身につける。 ・現在進めている事業の課題に対して、さまざまな視点からアドバイスをいただくことで、事業推進につなげる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・職員向けDX研修の開催いただき、伊那市の先進事例や事業推進の手法を講演いただいた。 ・地域情報共有プラットフォーム事業について、必要機能や運用手法について意見交換を行った。 ・スマート農業の推進について、伊那市の実証実験等の事例を基に旭川市でなにをしていくべきか意見交換を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容	・DXがどのように市民サービスの向上につながるのかを職員が理解し、DXへの期待感が向上した。 ・国や民間企業と連携するという新たな取組手法を職員が学ぶことができ、DX推進の視野が広がった。	

(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・国や民間企業と連携する新しい形での取組手法を職員が学びたいと考えて、シム推進の検討が本格化した。 ・地域情報共有プラットフォーム事業について今度の方向性が整理できたともに、アプリの運用主体をどうするかが課題であったが、地域起こし協力隊や集落支援制度の活用について助言をいただくことで、それらを活用した運用方法の検討を開始できた。 ・スマート農業の推進については、JA等との調整や財源が課題であったが、スモールスタートの提案ゆえは今活用について助言をいただき、これまで実施に至らなかった新たなスマート農業の取組の最も当てはまるものをリストより選択下さい。
具体的な成果物	<p>⑦その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者の満足度も非常に高く、今回学んだことを活かして職員がより一層DXの必要性を理解し、旭川市のDXが加速していくものと考えます。 ・地域情報共有プラットフォーム事業は、紹介を受けた集落支援制度等を活用することで、地域とスマート農業の推進については、スモールスタートを目指して各農家の課題等を把握することとなり、これらの作業が終わり次第、今回紹介のあったドローン等の活用を進めていく。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>職員研修受講者アンケートの結果、9割以上の職員が「大変良かった」「まあ良かった」と回答している。「旭川市に足りないもの、これから何をしていくべきかを確認できた」「実現までの道のりのでいかにして周囲を動かすかなどが非常に参考になった。」といった感想も上げられ、職員にとって非</p>
5-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい</p> <p>⑤その他</p>
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、失敗を恐れることなくさまざまな手法を活用しながら市民サービスの向上及び業務効率化を目指してDXの取組を進めている。 ・地域情報共有プラットフォーム事業については、市民が求める機能の実現に努めるとともに、さま

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



